平成28年度 英語が好きになる学校づくり 取組報告書

事務所名 沿岸南部教育事務所 学校名 釜石市立釜石中学校 TEL 0193-23-5523

生徒の学ぶ意欲を高めるための授業づくり ~英語学習に興味・関心をもたせるための視覚的な工夫を通して~

【ねらい】

生徒が言語や文化に興味、関心をもち、意欲的に英語を学ぼうとする態度の育成を目指し、校内外の英語担当教員がスクラムを組む体制を構築する。

【具体的な取組】

1)重点項目

本校の英語科における課題と、上記のねらいに迫るための手立てを考え、重点課題を下の 4 つに設定した。(0) は、本取組の全てにおける土台であることを意味している。

- (0) 校内英語担当者による相互の助け合いとチーム意識
- (1) 生徒の学ぶ意欲を高めるための授業づくり
- (2) 英語学習に興味・関心をもたせるための視覚的な工夫
- (3) 外国語活動からのスムーズな接続を目指した小中連携

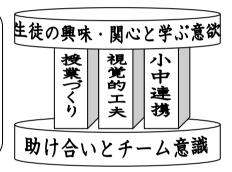


図1 重点項目の構想図

2) 取組経過

月	取組内容	テスト・英語科行事・その他
4	取組計画の立案	NRT
5	文献研究・先行実践研究・授業実践・掲示物の作成	中間テスト
6	文献研究・先行実践研究・授業実践・掲示物の作成	研修会・英検・期末テスト
7	文献研究・先行実践研究・授業実践・掲示物の作成	期末テスト
8	文献および先行実践研究・公開授業の構想・環境整備	実力テスト
9	本事業授業公開	県英語弁論大会・中間テスト
10	公開授業の構想	英検・県学調(2年)
11	授業公開	教育委員会指定学校公開
12	小中連携取組計画の立案・準備	CRT(1,2 年)
1	小中交流会の実施	英検・中 1 Can-Do テスト・実力テスト
2	まとめ	学年末テスト
3	次年度取組計画の立案	

3) 取組内容

(1)「生徒の学ぶ意欲を高めるための授業づくり」について

日々の授業における生徒の様子や諸テストのデータから、各学年の共通した課題として、長文読解力と自己表現力が挙げられた。そこで、本校英語科では、「読むこと」と「書くこと」を統合させた言語活動を日々の授業の中に意識的に取り入れることで、生徒の学ぶ意欲を高めようと考えた。

《 授業実践 》

題材名: PROGRAM6 A Work Experience Program (Sunshine English Course 2 開隆堂)

工夫した点

- ① 単元のゴールを明確にし、それ を達成させるための学習課題を 授業毎に設定した。
- ② 単元のゴールおよび毎時間の 学習課題の設定は、生徒の心をひ きつけ、自ら進んで学習に取り組 む内容になるよう考慮した。
- ③ 生徒が見通しをもって学習に 取り組むことができるよう、「学 習チェックシート」(右図)を単 元の初めに配布し、授業毎にふり 返りを行わせた。
- ④ 「読むこと」と「書くこと」を 統合させた言語活動を意識した。
- ⑤ 設定した単元のゴールに迫る ために、教科書の題材である「職 場体験について」からは離れ、自 作教材を中心に授業を進めた。

螯石市立釜石中学校 2年 英語科

学習チェックシート

2年 組 番氏名

外国に住む 途上国に住 世界の子ど to 不定詞を 間違いを恐 世界に住む よくわかった。 よくできた間 の子供たちの	:使って、自分が言いたれずに英文を書いたい 子どもたちの将来の B:ほとんどわかった (ほとんどできた) の学習課題	夢」を説 理解する ついて、ま といことを り話したり につい C:あま	明することができる。 ることができる。 英語でレポートすることができる。 を伝えることができる。
途上国に住 世界の子ど to 不定詞を 間違いを恐 世界に住む よくわかった。 よくできた) 各時間の の子供たちの	む子どもたちの思いれ もたちの将来の夢に 使って、自分が言い れずに英文を書いたり 子どもたちの将来の B:ほとんどわかった (ほとんどできた) の学習課題	理解する ついて、ま といことを り話したり をについ C:あま	ることができる。 英語でレポートすることができる。 を伝えることができる。 けすることができる。 でのレポート記事を書こう。 むりわからなかった D:わからなかった むりできなかった) (できなかった)
世界の子ど to 不定詞を 間違いを恐 世界に住む よくわかった。 よくてきた) 各時間の の子供たちの	もたちの将来の夢になって、自分が言いなれずに英文を書いたら 子どもたちの将来の B:ほとんどわかった (ほとんどできた) の学習課題	ついて、ま といことを り話したり 多につい C:あま (あま	英語でレポートすることができる。 を伝えることができる。 りすることができる。 でのレポート記事を書こう。 むりわからなかった D:わからなかった むりできなかった) (できなかった)
to 不定詞を 間違いを恐 世界に住む よくわかった。 よくできた) 各時間の の子供たちの	:使って、自分が言いたれずに英文を書いたい 子どもたちの将来の B:ほとんどわかった (ほとんどできた) の学習課題	たいことを り話したり 事につい C:あま (あま	を伝えることができる。 けすることができる。 てのレポート記事を書こう。 むりわからなかった D:わからなかった むりできなかった) (できなかった)
間違いを恐 世界に住む よくわかった よくできた) 各時間の の子供たちの	れずに英文を書いた。 子どもたちの将来の B:ほとんどわかった (ほとんどできた) の学習課題	がについ C:あま (あま	リすることができる。 てのレポート記事を書こう。 いわからなかった D:わからなかった おりできなかった) (できなかった)
世界に住む よくわかった よくできた) 各時間の の子供たちの	子どもたちの将来の B:ほとんどわかった (ほとんどできた) の学習課題	まについ C:あま (あま	てのレポート記事を書こう。 いわからなかった D:わからなかった おりできなかった) (できなかった)
よくわかった (よくできた) 各時間(の子供たちの	B:ほとんどわかった (ほとんどできた) の学習課題	C:あま (あま	いわからなかった D:わからなかった よりできなかった) (できなかった)
よくできた) 各時間の の子供たちの	(ほとんどできた) の学習課題	(88	まりできなかった) (できなかった)
の子供たちの		評価	わかったこと、わからたかったこと、味
	「松本の草」よ常販ブ		リンパンにこと、シルラはルンにこと、数
世界の子供たちの「将来の夢」を英語で 説明することができる。			
バングラデシュの子供たちについて理解 し、自分の考えを英語で書くことができ る。			
to 不定詞を使って、ネバールに住む子ども の、「1日の生活について」を英語で説明 することができる。			
ストリート・チルドレンについて理解し、自 分の考えを英語で書くことができる。			
	1日の生活に とができる。 ート・チルドレ すえを英語で1 こ住む子ども:	1日の生活について」を英語で説明 とができる。 ート・チルドレンについて理解し、自 考えを英語で書くことができる。 こ住む子どもたちの将来の夢につい ポート記事を英語で書くことができ	1日の生活について」を英語で説明 とができる。 ート・チルドレンについて理解し、自 考えを英語で書くことができる。 に住む子どもたちの将来の夢につい

《 第2時の授業展開 》

A	5~时少技未成例	
導	·帯活動	·"Stand by Me"を歌う。
入	・前時の復習	・諸先進国の子供たちの将来の夢を確認する。
	·学習課題提示	・バングラデシュの子供たちの、将来の夢を知ろう。
	·背景の理解	・バングラデシュ学校、進学率、児童労働などについて
展	・2 人の少女について	·Sheet AとSheet B(次頁)をペアで分けて読む。
		・2 人の将来の夢とその理由を読み取る。
開		・読み取った情報をペアで伝え合う。
	·映像	·「Merry インタビュー in Bangladesh」を見る。
	·感想記入	·"l think~because···"を使って感想を書く。 <
4/2	·発表	・数名が感想を発表する。
	・ふり返り	・学習チェックシートにコメントを書く。
^	・あいさつ	
	導 入 展	導・帯活動 ・前時の復習 ・学習課題提示 ・背景の理解 E ・2人の少女について 開・映像 ・感想記入 終ま・ふり返り

[生徒の感想]

- I think She is very poor because she can't go to school.
- I think I am happy because I can't go to school.

など

※使用したワークシートの本文(実際は、見出しと写真を載せ、新聞記事風にした)

SHEET-A

Her name is Mina. She is 12 years old. Her job is to *break *bricks. Because her family is very poor, she has to work. She stopped going to school three years ago.

"I get up early in the morning at 5am, I cook for my family because they all have to work. Then I go to the brick field at 7am and I work there until 2pm, then I go home," she told us. Mina has a dream for the future. She tells us "I have a big dream to be a police officer, and I want to save the poor people. I *need to study very hard. It's difficult, but I want to achieve my dream."

SHEET-B

15-year-old Bithi works at a *clothing *factory. Bithi wants to be at school with girls, but she thinks it is too difficult. She uses a *sewing machine and makes 60 pockets for an hour.

She has a father, a mother, and two sisters. Her father is sick. So Bithi sends the money to her family.

"When I came to this factory, I was too small. That first day, I cried." Bithi tells us. "I wanted to be a doctor, but I gave up. When I see girls in their school, I always think I want to go to school. But now, my dream is to stand on my own *feet."

《 第4時の授業で書いた生徒の英作文 》

タイトル: About Street Children

ストリートチルドレンに関するドキュメンタリー(24 時間テレビ)を見た後で書かせた。生徒たちは、和英辞書で調べながら、熱心に英作文に取り組んだ。未習の単語が文中にあるのはそのためである。多少の間違いはあるものの、生徒の伝えたい思いが十分に伝わってくる。

(上位層女子)

When I watched a movie, I was shocked at first. To study at school, to eat a meal every day, to play with their friends, and there are family and friends are not natural things for them. If I meet them, I'll give them very tasty food, wonderful shoes, and my fine. The environment to live and happiness are very different in each countries. I think people around the world should help them someday.

(中位層男子)

I knew there are some street children all over the world. They can't write their own names. I was amazed. Because they can't go to school. I think the children must decrease the street children. Because they know street children's pain.

(中位層女子)

I want to help street children. They don't have the family. I was sad. So I'd like to give affection to street children. I think street children are strong. Because they are living now. For them, what can we do? I want to be useful for them.

(中位層女子)

Why did they throw children? I think they are irresponsible. Because I think they could do something. And we can do something!! For example, recycling clothes and books, and teaching to study. I hope street children will be happy.

(下位層男子)

I think street children are very poor. We must save the street children. We can give street children a lot of money. Then, we can give street children the opened future.

《 第5時の授業で書いた生徒の英作文 》

タイトル: About Future Dreams of the Children in the World

単元のゴールとして設定した学習課題である。先進国と途上国の生活環境の違いや、そこからくる将来の夢についての価値観の違い、そして、国際協力の必要性など、生徒たちが思い思いに自分の考えを英作文にした。

(上位層男子)

Children have many dreams. For example, a soccer player, a doctor, and so on. Some children have chance to realize their dreams. But the other children don't have chance to do that. They are poor. So we must give them a chance to do that. But I can't find the answer. Because the thing is too big. What should I do? If I find it, I will do it!

(上位層女子)

Children in the world have many kinds of dreams. They are a soccer player, a doctor for example. Some want to be famous and rich, and others want to help people or animals. Besides, poor children want to earn money for others. I think it's very brave. But some children don't have big dreams. If poor children know this, they will be amazed. I think we should have big dreams because we have the chance to do it.

(上位層女子)

There are many children in the world. They all have dreams. Even if they live in different country, that will be same. I learned about poor children. There were children their parents threw away, can't bring them up. And the children work at the factory to go to school in the world. All the causes are a poor environment. They can't do things that we think it is natural. What do you think about them? They are living with only their powers. I think that's amazing. So I think we should help them too.

(中位層男子)

Children have many dreams. For example, a soccer player, a scientist, and a rich. But some children can't have chance to make their dreams come true. What do you think about them? I think they are poor. I want to do something for them. But I don't know the way of that. What can we do? If we can think about that, we can carry it. We will be able to reduce children like them.

(中位層女子)

Children in the world have dreams. For example, a rich, a soccer player, and a doctor. But some children can't have dreams. Because they are poor. And they can't go to school. If I meet them, I will give them dreams. But it's not so a simple thing. What can we do in order to be useful for them?

(下位層男子)

I know children around the world have a dream. A soccer player, a doctor and so on for example. We want to protect children's dreams. Because some children around the world are spending sad life. So therefore, I must work. And I protect dreams of the children around the world.

(下位層男子)

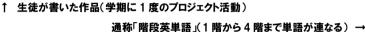
They have many dreams. So I send money to give them many dreams. They are saying they want to be rich. Then I can give all the street children food, clothes, medicine, and love. So I want to save them, Enjoy your life yourself. Thank you!!

(2)「英語学習に興味・関心をもたせるための視覚的な工夫」について

授業以外の場で、英語学習に対する生徒の興味・関心をもたせるために、下のような掲示物を各学年のフロアに掲示した。



















↑ 英検や英単語クラスマッチの合格者名簿 (切磋琢磨の気持ちづくり)

学年に応じたレベルの英語本と英和・和英辞典 -(Anytime, Anywhere English!!)





(3)「外国語活動からのスムーズな接続を目指した小中連携」について

本校英語科教員 3 名が分担し、同学区の3 つの小学校で出前授業を行う予定である。今、各校と連絡をとり、その日程を調整している段階であるが(12/10 現在)、1 月下旬から 2 月上旬にかけての実施になりそうである。当日は、教員だけでなく、各校の卒業生数名をスモールティーチャーとして参加してもらう予定である。本格的な英語に触れることが出来ること、卒業生の先輩の成長した姿を見ること等、より小中連携を深めることが出来ると小学校の先生からは感謝の声が届いている。

【 成 果 】

- ・ 授業づくり担当、校内掲示物担当、生徒作品担当など、英語科教員がそれぞれ役割を分担することで、 それぞれの分野で校内の英語活動を盛り上げることができた。
- ・ 生徒の実態や課題を共有し、その改善に向けて、各学年が同じベクトルで英語教育活動に取り組むこと ができた。
- ・ 中には次の日の時間割を毎日英語で表示する学級もあり、「英語に触れよう、触れさせよう」とする雰囲気が学校全体に出てきた。
- ・ 諸テストやアンケート結果から、生徒の学ぶ意欲の高まりが見られ、英検に挑戦する生徒も増えた。

【今年度県学調結果および県学調アンケート結果から(2年生:H28 10/12 実施)】

領域	県 比	観点	県 比	質問 (%)	Α	В	С	D
聞くこと	102.6	理解	113.7	英語の勉強は好きですか。	50	27	19	4
読むこと	120.5	表現	133.5	英語の授業の内容はよく分かりますか。	52	33	12	4
話すこと	116.5	言語	111.6	A:好き・よく分かる B:どちらかといえば、好き(分かる) C:どちらかといえば好きではない(分からない) D:好きではない(分からない)				